

以下の文をよく読んでから
解答に着手すること

1. 問題はⅠ、Ⅱの2問である。
2. 問題冊子は、問題用紙と解答用紙に分かれている。
3. すべての問題に解答すること。
4. 解答は、解答欄の破線の枠内にのみ記すこと。枠外や裏面、問題用紙の余白に書いても、採点の対象にはならない。
5. 解答は、必ず日本語で記すこと。

2023 年度大学院博士前期課程 (第 2 期) 入試問題

心理発達科学 専攻

試験科目	英語
------	----

(4 枚中 その 1)

2023年1月24日

9時00分～10時00分

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

*整理番号	
-------	--

心理発達科学 専攻

試験科目	英語
------	----

(4 枚中 その 1)

*整理番号	
-------	--

*印欄は受験生記入不要

I. 次の英文を日本語に訳しなさい。

(出典 : Holder, M. D. (2012). *Happiness in children: Measurement, correlates and enhancement of positive subjective well-being* (p.21). Springer. ただし, その一部を使用している)

2023 年度大学院博士前期課程 (第 2 期) 入試問題

心理発達科学 専攻

試験科目	英語
------	----

(4 枚中 その 2) 2023年1月24日

9時00分～10時00分

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

*整理番号	
-------	--

心理発達科学 専攻

試験科目	英語
------	----

(4 枚中 その 2)

*整理番号	
-------	--

*印欄は受験生記入不要

Iの解答欄

2023 年度大学院博士前期課程 (第 2 期) 入試問題

心理発達科学 専攻

試験科目	英語
------	----

(4 枚中 その 3)

2023年1月24日

9時00分～10時00分

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

*整理番号	
-------	--

心理発達科学 専攻

試験科目	英語
------	----

(4 枚中 その 3)

*整理番号	
-------	--

*印欄は受験生記入不要

II. 次の英文を日本語に訳しなさい。

(出典 : Lutz, W., Castonguay, L. G., Lambert, M. J., & Barkham, M. (2021). Traditions and new beginnings: Historical and current perspectives on research in psychotherapy and behavior change. In M. Barkham, W. Lutz, & L. G. Castonguay (Eds.), *Bergin and Garfield's handbook of psychotherapy and behavior change* (50th anniversary edition) (p.8). John Wiley & Sons.
ただし, その一部を使用している)

2023 年度大学院博士前期課程 (第 2 期) 入試問題

心理発達科学専攻

試験科目	英語
------	----

(4 枚中 その 4) 2023年1月24日

9時00分～10時00分

受験番号		氏名	
------	--	----	--

*整理番号	
-------	--

心理発達科学専攻

試験科目	英語
------	----

(4 枚中 その 4)

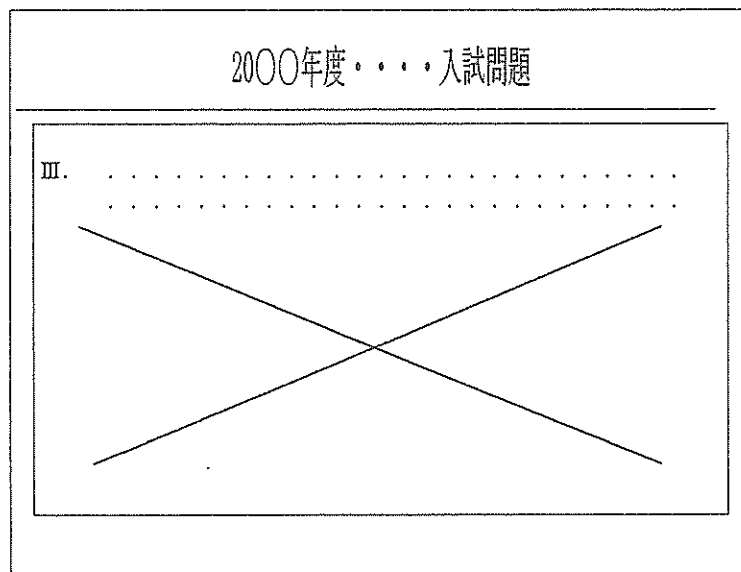
*整理番号	
-------	--

*印欄は受験生記入不要

IIの解答欄

以下の文をよく読んでから
解答に着手すること

1. 問題は I ~ V までの 5 問である。
2. I は必ず解答すること。
3. II・III・IV・V から 2 問を選んで解答すること。
4. 選択しなかった問題については、下の例のように、大きく×印をつけること。



5. 合計 3 問を解答すること。 4 問以上の問題に解答したり、選択しなかった問題が不明確だったりした場合は、すべての解答を無効とする場合があるので、十分注意すること。
6. 解答は、破線の枠内にのみ記すこと。枠外や、裏面に書いても、採点の対象にはならない。
7. 解答は、指定がない場合は、必ず日本語で記すこと。

2023 年度大学院博士前期課程 (第 2 期) 入試問題

心理発達科学 専攻

試験科目	心理発達科学
------	--------

(5 枚中 その 1)

2023年1月24日

10時30分～12時00分

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

*整理番号	
-------	--

心理発達科学 専攻

試験科目	心理発達科学
------	--------

(5 枚中 その 1)

*整理番号	
-------	--

*印欄は受験生記入不要

I. 確認的因子分析と探索的因子分析の違いについて、例を挙げながら説明しなさい。

2023 年度大学院博士前期課程（第 2 期）入試問題

心理発達科学 専攻

試験科目	心理発達科学
------	--------

(5 枚中 その 2)

2023年1月24日

10時30分～12時00分

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

*整理番号	
-------	--

心理発達科学 専攻

試験科目	心理発達科学
------	--------

(5 枚中 その 2)

*整理番号	
-------	--

*印欄は受験生記入不要

II. 勉強に困難を感じている以下の生徒の事例を読み、このような生徒の状態について、以下に書かれている2つの心理学概念を基に、生じている心理的過程についてわかりやすく説明しなさい。

事例：

中学3年生のAさんは、高校受験を目標にしており、そろそろ勉強に本腰を入れなければならない、と思っています。しかし、定期テスト前に机に向かおうとすると、テスト勉強に専念できず、気持ちが落ち着きません。やらなければならないことはわかっているのですが、自分自身の学力に自信がもてず、テスト前になると、「いっしょうけんめい勉強しても、結局うまくいかないのではないか」「テスト勉強なんて、やるだけむだなのではないかと不安になってしまいます。

このような勉強への心配があることに加え、目前のことにすぐに気をとられ、勉強から気がそれてしまうことも問題だと感じています。スマホで調べ物をしようとしてアプリに新しいメッセージが届いていることがわかると、先にそれを見ずにはいられません。その後、すぐにメッセージに回答したり、音楽や動画などに注意が向いてしまったりします。

このような状態で、Aさんはテスト前に勉強に取り組むことに不安があること、そして机に向かっても、すぐに目先の誘惑に負けてしまうことに困っています。

○心理学概念

(1) テスト不安

(2) 満足の遅延

2023 年度大学院博士前期課程 (第 2 期) 入試問題

心理発達科学 専攻

試験科目	心理発達科学
------	--------

(5 枚中 その 3)

2023年1月24日

10時30分～12時00分

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

*整理番号	
-------	--

心理発達科学 専攻

試験科目	心理発達科学
------	--------

(5 枚中 その 3)

*整理番号	
-------	--

*印欄は受験生記入不要

III. 以下の用語について、その意味を説明し、日常における具体例を挙げなさい。

(1) 情動二要因説

(2) 社会的証明の原理

(3) 共有地の悲劇

2023 年度大学院博士前期課程（第 2 期）入試問題

心理発達科学専攻

試験科目	心理発達科学
------	--------

(5 枚中 その 4)

2023年1月24日

10時30分～12時00分

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

*整理番号	
-------	--

心理発達科学専攻

試験科目	心理発達科学
------	--------

(5 枚中 その 4)

*整理番号	
-------	--

*印欄は受験生記入不要

IV.

問1 エックルス (J. S. Eccles) らが提唱している初期青年期 (early adolescence) における発達段階-環境適合 (stage-environment fit) の概念について説明しなさい。

問2 問1の発達段階-環境適合の概念について、中学校の環境における具体例を多様な発達の観点から説明しなさい。

2023 年度大学院博士前期課程 (第 2 期) 入試問題

心理発達科学 専攻

試験科目	心理発達科学
------	--------

(5 枚中 その 5)

2023年1月24日

10時30分～12時00分

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

*整理番号	
-------	--

心理発達科学 専攻

試験科目	心理発達科学
------	--------

(5 枚中 その 5)

*整理番号	
-------	--

*印欄は受験生記入不要

V. 以下の事例を読み、問いに答えなさい。

A は、高校2年生である。ある日、授業中に突然泣き出したため、驚いた教師によって、スクールカウンセラーのもとに連れてこられた。相談室では、「クラスの友達から悪口を言われており、ひどい嫌がらせも受けている」と訴えて泣き続けるも、興奮状態が落ち着くとぐったりして無表情になった。担任はAを心配し、周囲の生徒にそれとなく確認したが、悪口を言っているという事実はなかった。学校からの連絡で駆けつけた母親によれば、Aは、小さなころから、無口でおとなしい子どもであったが、最近、ちょっとしたことで怒りだしたり、意味不明なことを早口で話したかと思えば無表情になって黙り込んだり、落ち着かない様子だったという。

問1 Aの様子から、Aの状態をどのように見立てることができるか。その根拠も示しなさい。

問2 Aのような生徒に関して、スクールカウンセラーとして、どのような対応ができるだろうか。思いつくものを3つあげ、説明しなさい。

(1)

(2)

(3)